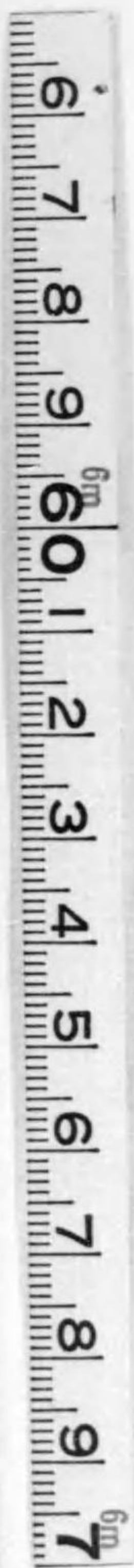


14.21

351



始





大正二年度

三重縣工業試驗場業務功程



大正二年度業務功程

目次

第一章	染織部	一
第一節	一般ノ經過	一
第二節	講習講話、實地指導及質疑應答	二
第三節	試驗製作及依頼加工	七
第四節	試驗成績	三
第二章	圖案部	七
第一節	一般ノ經過	七
第二節	研究會及其種類	八
第三章	窯業部	九
第四章	分場各部	〇
第五章	品評會審查	三
第六章	場員出張調	五

大正
3. 11. 8
内交

目次

第一章 總論	一
第二章 業務概況	一
第三章 業務功程	一
第四章 業務成績	一
第五章 業務經費	一
第六章 業務人員	一
第七章 業務設備	一
第八章 業務其他事項	一
第九章 業務附屬事項	一
第十章 業務其他事項	一
第十一章 業務其他事項	一
第十二章 業務其他事項	一
第十三章 業務其他事項	一
第十四章 業務其他事項	一
第十五章 業務其他事項	一
第十六章 業務其他事項	一
第十七章 業務其他事項	一
第十八章 業務其他事項	一
第十九章 業務其他事項	一
第二十章 業務其他事項	一
第二十一章 業務其他事項	一
第二十二章 業務其他事項	一
第二十三章 業務其他事項	一
第二十四章 業務其他事項	一
第二十五章 業務其他事項	一
第二十六章 業務其他事項	一
第二十七章 業務其他事項	一
第二十八章 業務其他事項	一
第二十九章 業務其他事項	一
第三十章 業務其他事項	一
第三十一章 業務其他事項	一
第三十二章 業務其他事項	一
第三十三章 業務其他事項	一
第三十四章 業務其他事項	一
第三十五章 業務其他事項	一
第三十六章 業務其他事項	一
第三十七章 業務其他事項	一
第三十八章 業務其他事項	一
第三十九章 業務其他事項	一
第四十章 業務其他事項	一
第四十一章 業務其他事項	一
第四十二章 業務其他事項	一
第四十三章 業務其他事項	一
第四十四章 業務其他事項	一
第四十五章 業務其他事項	一
第四十六章 業務其他事項	一
第四十七章 業務其他事項	一
第四十八章 業務其他事項	一
第四十九章 業務其他事項	一
第五十章 業務其他事項	一

大正二年度

三重縣工業試驗場業務功程

第一章 染織部

第一節 一般ノ經過

本年度ニ於テ新ニ設備セル機械ノ主要ナルモノハ

- 蒸汽機關 一臺
- 四日市製 一臺
- 幅出乾燥機械 一臺
- 東京製 一臺

ニシテ尙從來隣地三重織物生産組合整理工場ヨリ蒸氣及動力ノ供給ヲ受ケ居リシモ今回該組合解散ノ爲メ追加豫算ヲ以テ同所ノ建物及設備機械等ノ大部分ヲ本場ニ購入シ以テ作業上支障ナカラシメタリ其ノ購入セル建物及機械ノ主要ナルモノハ左ノ如シ

- 建物 (平家建) 五拾壹坪
- 汽鐘 (コルニツシユ型) 一基
- 瓦斯燒機械 一臺
- 湯熨斗機械 一臺

湯通シ機械

一 臺

以上ノ結果トシテ織物整理機械ハ既設ノモノト相俟ツテ稍々整備セルヲ以テ爾後益其ノ効果ヲ發揮スヘキヲ信ズ

前年度ニ於テ購入セル撚糸機械ニ依リ試製スル強撚糸ハ之ヲ瓦斯縮、木綿縮、交織縮等各種ノ縮織物ニ應用セル結果頗ル良好ナル成績ヲ示シ當業者中之ガ應用ヲナスモノ續出スルニ至レリ
其他織物、染色、整理等何レモ概シテ佳良ナル進歩ノ成績ヲ舉ゲツ、アルハ喜ブベシ
尙本年度ニ於テモ各地ニ於テ講習、講話會ヲ開催シ且必要ニ應シ隨時各方面ニ出張シテ實地指導ヲ行ヒ或ハ當業者ノ質疑ニ答フル等常ニ縣下染織業ノ改良發達ニ努メタリ

第二 講習講話、實地指導及質疑應答

一、講習講話

本年度ニ於テ施行セシ講習及講話ハ合計十一回ニシテ前年度迄ハ染色ニ關スル傳習ノミナリシモ本年度ヨリハ機械ニ關スルモノヲモ開催シ以テ兩者ノ發達ノ併行ヲ期セリ即チ左ノ如シ

事項	項目	日數	人員	開催年月	開催場所
染色法一斑		七	五〇	大正二年四月	賀郡古山村

同		六	四五	同	阿山郡上野町
同		六	四七	同	志摩郡的矢村
染色及機織一斑		五	四五	同	度會郡田丸町
同		七	二〇	同	北牟婁郡錦村
木綿染色法		二	一七	同	河藝郡一身田町
同		二	一一	同	郡榮村
染色法一斑		七	四八	大正三年一月	志摩郡加茂村
染織ニ關シ		一	一六〇	同	鈴鹿郡龜山町
染色ニ關シ		一	一〇	同	員辨郡大泉原村
染織ニ關シ		一	六〇	同	安濃郡新町
計		四五			

以上ノ内河藝郡一身田町及榮村ニ於ケルハ裏地木綿用原糸ノ染色ニ關シ當業者ノ爲メニ行ヘルモノニシテ毎年ノ例ニ依リ主トシテ實地ニ就キ應用ノ範ヲ示スニ努メタリ
北牟婁郡錦村ハ從來漁村ノ常トシテ女子ノ職業トシテ殆ント見ルベキモノナリシガ今回同村長等有

志ノ畫東ニヨリ足踏織機數十臺ヲ購入シテ子女ニ機織ノ術ヲ傳ヘントシ本場ニ之カ指導ヲ依頼シ來
 レルヲ以テ染色及機織ノ一班ニ就キ傳習セリ其後力機織工場建設ノ議アリ目下設計進行中ニアリ
 志摩郡ニ於テハ從來織物ノ產出殆ンド絶無ニ近キ狀況ナリシモ近時之カ製出ヲナサントスルモノ續
 出シ同郡下ニ於テ染色講習會ヲ開催シ何レモ好成绩ヲ收メタリ
 其他名賀、阿山、度會等ハ何レモ家庭的ノ講習會ニシテ之等モ農家ノ副業トシテ將タ家庭ニ於ケル
 經濟上ヨリシテ頗ル良好ナル結果ヲ呈シツ、アリ

前記ノ外特ニ記スベキハ四日市市ニ於ケル染色練張業研究會ニシテ同地ニ於ケル染色業者、練張業
 者ハ本年度ノ初メニ於テ染色練張業組合ヲ設立シ毎月一回會合ヲ催シテ染色、練張、汚点拔等ニ關
 シ研究ヲ繼續シ本場ヨリハ其都度場員出張シテ研究ニ參與シ着々改良ノ域ニ進ミツ、アルハ頗ル喜
 プベキ現象ナリトス

二、實地指導

實地指導ハ必要ニ應ジテ場員ヲ各地ニ出張セシメ實地ニ就キ指導ヲ行ヘルモノニシテ其回数、日數
 等次表ノ如シ

郡市別	回数	日數	指導事項
三重郡	三	四	同
河藝郡	六	一三	同
安濃郡	五	一五	同
一志郡	一	一	同
飯南郡	九	二二	同
多氣郡	二	二	同
度會郡	三	三	同
志摩郡	一	一	染色及機織色
阿山郡	四	八	染色及機織色
名賀郡	一	二	同
津市	二三	二三	同
四日市市	一一	一六	染色色
宇治山田市	一	一	同
計	七六	九九	

前表ニ於ケル指導事項ハ或ハ織機ノ使用方法ニ關スルアリ或ハ染色ニ關スルアリ或ハ原料ノ撰擇、精練、漂白、整理等種々ナル方面ニ涉レルモノニシテ其ノ効果顯著ナリトス

三、 質疑應答

本年度ニ於ケル質疑應答件數ハ合計一七七件ニシテ即チ左ノ如シ

郡市	精練漂白	染色	織物	整理	燃糸	染織原料	機械	其他	計
桑名郡	1	2	1	1	1	1	1	1	3
員辨郡	1	1	1	1	1	1	1	1	1
三重郡	1	2	1	1	1	1	1	1	6
鈴鹿郡	1	1	1	1	1	1	1	1	2
河藝郡	1	9	2	2	1	1	1	1	5
安濃郡	2	7	8	3	2	1	1	1	4
一志郡	1	6	3	2	1	1	1	1	4
飯南郡	1	2	4	1	1	1	1	1	0
多氣郡	1	3	1	1	1	1	1	1	5

以上ノ事實ハ其ノ多クハ簡單ナリト雖モ當業者ノ受クル利益ハ適切ナルモノニシテ講習講話及實地指導ト相俟ツテ本場業務ノ一要部ヲ占ムルモノタルヲ信ズ

第三 試驗製作及依頼加工

一、 試驗製織及加工

本年度ニ於テ試驗ノ爲メ製織又ハ加工シタルモノ、數量次ノ如シ

郡市	精練漂白	染色	織物	整理	燃糸	染織原料	機械	其他	計
度會郡	1	1	1	1	1	1	1	1	2
志摩郡	1	1	1	1	1	1	1	1	2
阿山郡	1	5	2	1	1	1	1	1	9
名賀郡	1	2	1	1	1	1	1	1	4
北牟婁郡	1	1	1	1	1	1	1	1	4
津市	3	8	0	8	3	1	6	2	5
四日市市	4	3	1	3	1	1	1	1	2
宇治山田市	1	2	1	1	1	1	1	1	3
計	13	75	36	22	7	3	14	7	177

種類	品名	數量	備考
絹綿交織物	高貴織	二〇反	作業資金製織
同上	糸入織	一三	同上
同上	壁糸織	六九	同上
同上	瓦斯縮	三三	同上
同上	瓦斯縮	七八	同上
同上	蒲團縞	一〇	同上
同上	木綿縞	一七	同上
同上	セイル地	二	同
同上	同	八	試験費製織
同上	木綿裏地	五六〇	作業資金加工
同上	モスリン浴衣地	四	同上
計		八一四	

之等ノ試製品中斯業參考上適切ナリト認メタルモノハ見本トシテ當業者ニ配付シ殘品ハ隨時希望者ニ賣却シテ一般ノ嗜好ヲ知ルノ便ニ供セリ
 一、 依頼加工
 本年度ニ於テハ織物整理加工ノ外新ニ綿糸ノ精練漂白、染色及シルケット、絹糸ノ精練及染色、毛糸ノ染色、綿糸及絹糸ノ撚糸等ノ依頼加工ヲ開始シ以テ實際的ニ斯業ノ改良ヲ期セリ其ノ數量次ノ如シ而シテ之等ハ年ヲ重ヌルニ隨テ益其ノ効果ヲ發揮スベキヲ信ズ

加工種類	品種別	並巾物	二巾物	三巾物	計
木綿縞	木綿縞	四一七			四一七
瓦期縞	瓦期縞	一六	四		二〇
交織縞	交織縞	六			六
木綿縮	木綿縮	八			八
瓦斯縮	瓦斯縮	七〇			七〇
瓦斯御召	瓦斯御召	四			四
交織御召	交織御召	四			四
麻織物	麻織物	三五			三五
計					八一四

色		絹糸染色		綿糸		燃糸	
計	十四番同	練絹糸	熨斗糸	八十番同	六十番同	三十番紡績單糸	總計
一五五	四、一五〇			七三七	一、五六〇	五〇二	二、八二九
一八、〇〇〇	四、八〇〇			二、二一一	六、二四〇	二、〇〇八	一〇、五一九
一六四、一〇二	一、三二七			六〇	三、九四八	三、二二〇	三、二二〇

第四 試驗成績

硫化染料撰定試驗

伊勢織物同業組合ニ於テハ從來組合員使用ノ硫化染料(紺色及納戸色)ハ組合指定ノモノニ限ラレアリシガ今回右指定染料撰定ノ爲メ當場ニ之ガ比較試驗ヲ依頼シ來レリ提出セラレタル硫化染料ハ左記二十三種ニシテ内十六種ハ紺色、七種ハ納戸色ナリ而シテ右二十三種ノ染料ハ(イ)ヨリ(ウ)ニ至ル符ヲ附シ且ツ各百斤ニ對スル價格ヲ表示シ染料名、提出商店名等ハ絶對ニ秘密ニ附セラレタリ

符號	色合	百斤價格	符號	色合	百斤價格	符號	色合	百斤價格
イ	紺	六九、〇〇〇	ヲ	紺	六八、〇〇〇	ロ	納戸	七三、〇〇〇
ハ	同	七二、〇〇〇	ワ	同	七五、〇〇〇	ニ	同	六二、〇〇〇
ヘ	同	七七、〇〇〇	カ	同	七五、〇〇〇	ホ	同	六七、〇〇〇
ト	同	九五、〇〇〇	ヨ	同	七二、〇〇〇	ソ	同	七一、〇〇〇
チ	同	八〇、〇〇〇	タ	同	五四、〇〇〇	ッ	同	五六、〇〇〇
リ	同	七〇、〇〇〇	レ	同	七二、〇〇〇	ラ	同	六五、〇〇〇
ヌ	同	八〇、〇〇〇	子	同	七五、〇〇〇	ウ	同	五五、〇〇〇
ル	同	七五、〇〇〇	ム	同	八五、〇〇〇			

計 二十三種

以上二十三種ニ對シ先ツ染料ノ溶解度、夾雜物ノ有無等ニ就キ試驗ヲ行ヒ次ニ各10%ヅ、ノ染料ヲ使用シテ其ノ濃度、色相等ニ關スル試驗ヲ行ヒタル結果成績良好ト認めタルモノハ次ノ十二種ナリトス

紺色 || カ、チ、ヨ、ワ、ヘ、イ、リ、ム、

納戸色 || ソ、ホ、ツ、ウ、

次ニ右十二種ノ染料ニテ豫メ藍ノ下染ヲ施シタル綿糸ニ對シ左記ノ割合ニテ繼續試驗ヲ行ヒタリ即チ百斤價格七十五圓ノモノヲ綿糸一貫二百匁ニ付キ百六十匁ノ割合ニ使用シ此ノ價額ヲ標準トシテ染色ヲ行ヒ第二回ハ第一回ノ70%、第三回ハ同ジク50%ヲ補充シ尙引續キ二回殘液ニテ染色ヲ行ヒ比較シタル結果次ノ九種ヲ得タリ

紺色 || カ、ワ、ヨ、ヘ、チ、ム

納戸色 || ソ、ホ、ツ

以上九種ノ染料ニ對シ多量ニ染色スル場合ノ割合ノ如何ヲ知ル爲メ左記ノ割合ニ依リ綿糸二九ヅ、五回繼續ノ染色ヲ行ヒタリ其結果多少前ノ小試験ノ場合ト相異ヲ生ジタルモノアリシモ結局前記九種ヲ良好ナルモノト認めタリ

符號

初 回 二 回 三 回 以後 初 回 二 回 三 回 以後

カ	ワ	ヨ	ヘ	チ	ム
一六〇	一六〇	一六七	一五六	一五〇	一四一
一一二	一一二	一一六	一〇九	一〇五	九八
八〇	八〇	八三	七八	七五	七〇
一一八	一一八	一一三	一二四	一二〇	一一三
九〇	九〇	九三	八七	八四	七九
六四	六四	六六	六二	六〇	五六

以上六種紺色

ソ	ホ	ツ
一四二	一五〇	一八〇
九九	一〇五	一二六
七一	七五	九〇
一四二	一五〇	一八〇
九九	一〇五	一二六
七一	七五	九〇

以上三種納戸色

洗曹達及硫酸曹達ハ何レモ次ノ割合ニ使用シタリ

符號	色合	染料	料	名
カ	紺	チオゲン	ブリウ	二二二
ワ	同	ピロジン	インジゴ、ヌーポート	
ヨ	同	サルファ	アブブリウ	TMA
ヘ	同	チオン	ブリウ	THコンク
チ	同	チヨ	ダイ	ンヂゴR
ム	同	サル	フ	アインヂゴRBコンク

右分量ハ何レモ綿糸一九ニ對スル割合ナリ即チ紺色ハ百斤ノ價格七十五圓ノモノ平均八十匁ヲ標準トシ納戸色ハ價格五十六圓ノモノ平均九十匁ヲ標準トシテ染色シタルモノナリ
右試験ノ結果ニ依リ前記九種ノ染料ハ提出染料中比較的良好ナルモノト認ム
右試験終了後發表セル染料名次ノ如シ

洗曹	達	初回	二回	三回以後
硫酸	曹	五〇〇	一二五	六〇
洗曹	達	一二〇	六〇	二五

第二章 圖案部

第一 一般ノ經過

各都市或ハ便宜ニヨリ郡市ニ聯合シ毎月一定ノ日時或ハ不定時ニ當業者ノ申合セニヨル研究會ヲ設ケ本場ヨリ場員ヲ派シテ會ニ臨マシメ其ノ研究ニ資スヘキ適當ノ材料ヲ展示シ又技術上ニ於ケル質疑並ニ圖案ニ關スル指導ヲナス等専ラ當業者ノ技術智能ノ啓發ニ務メタル結果漸次効果ノ見ルベキモノアルヲ以テ隨テ當業者ト本場トノ關係益々親密ヲ加ヘ本場ヨリ毎月定時ニ出張セルヲ頗ル利便トスルモノ、如シ斯クシテ當業者ト接近スルコト頻繁トナルニ伴ヒ本場ニ出入スルモノ多キヲ加フルニ至レル之レ圖案研究會ヲ開設シタル効果ナラサルベカラス

又毎月研究會ヲナスト同時ニ一ケ年一回若クハ二回事業ノ種類毎ニ競技會ヲ開催シ同業組合ハ之カ賞品ヲ支出スル等亦進歩ノ上ニ効果尠カラズト信ス

第二 研究會及種類

郡市	組合	種類	例會	大會	創立時日
四日市	陶器同業組合	陶器素地	每月十五日	每年五月	大正元年五月
河藝郡	漆器業者	漆器竹製品	每月十一日	每年六月、十二月	大正二年八月
神戶町	型紙業者	品紙及紙製	每月十日	不定時	大正元年八月
同白子町	漆器同業組合	漆器團扇	每月廿三日	同上	明治四十四年八月
津市	團扇業者	漆器團扇	每月廿三日	同上	大正二年九月
桑名郡	漆器業者	漆器團扇	每月十六日	同上	大正元年九月
宇治山田市	菓子業組合	菓子	每月一日	同上	同上
同	操物業	土產物	同上	同上	同上
同	印刷業者	石版	同上	同上	同上

此ノ外特ニ會日ヲ規定セズ隨時必要ニ應シテ會合ヲ催シ本場ヨリ技術者ヲ派シ意匠圖案上參考品ヲ展觀セシメ又講話ヲナス
又遠隔ノ地ニアリテハ書面ニテ質疑ヲナスモノアリ之ニ對シ應答ヲナスコト屢々アリ

質疑應答

講習講話

圖案依賴數

實地指導ノ爲出張件數

八〇件

一五件

三四〇件

三六回

第二章 窯業部

本縣陶磁器業者ニ對スル技術上ノ指導ヲ與フル爲メ絶ヘス生産地ニ巡回指導ヲナスニ務メタル結果ハ漸ク其効果ヲ見ルニ至レリ四日市市ニ於ケル萬古燒ノ如キハ在來ノ松楨ヲ石炭ニ代ヘタルモノヲ出シ其製品モ從來ノ萬古ニ於テ見ルコトナカリシ新製品ヲ製出シ在來萬古燒ノ屢々不況ノ爲メ生産力ヲ減少シ商況ノ不振ヲ來セシモ此新製品ヲ出スニ至リテ産額統計上却リテ産額ノ増加ヲ來スノ好況ヲ呈スルニ至レリ

又阿山郡丸柱燒陶器業ノ啓發ニ對シ大ニ務メタル結果トシテ漸次水力ヲ利用シテ原土粉粹機ヲ据ヘ付人工ヲ省約スルモノヲ出シタル如キ又在來ノ土瓶行平ノミノ主產物ニ加フルニ火鉢植木鉢其他ノ大物ヲ燒成シ得ルニ至リ楡油業ノ研究等ニ益々注意スルニ至レリ而シテ本場ハ其生産額ヲ増サシメ其販賣方法ニ至ル種々ナル方法ヲモ攷究スルニ指導スル處多ク同地附近數ヶ村ノ聯合シタル同業組

合ヲ組織セントスルニ至レリ同地陶器業ノ前途大ニ注目エ值スルモノアリ

第四章 分場各部

講習、講話

郡市事	項	漆器ニ關スル講習		同上講話		醸造ニ關スル講話		計
		津市	宇治山田市	津市	宇治山田市	津市	宇治山田市	
津市	漆器							
津市	製紙							
津市	醸造							
津市	化學製品							
津市	汽罐用水ニ付							
津市	計							
宇治山田市	漆器							
宇治山田市	製紙							
宇治山田市	醸造							
宇治山田市	化學製品							
宇治山田市	汽罐用水ニ付							
宇治山田市	計							
計		三	一	一	一	四	四	八
實地指導								

見本配布
 在來ノ配立方法ヲ安全且確實ナラシムル工夫ヲ講シテ醸造シタル清酒ヲ各營業者ニ配布セリ
 分析試験鑑定

郡市事	項	見本配布		分析試験鑑定		計
		津市	宇治山田市	津市	宇治山田市	
津市	見本配布					
津市	分析試験鑑定					
津市	計					
宇治山田市	見本配布					
宇治山田市	分析試験鑑定					
宇治山田市	計					
計		一	一	四	五	一四

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	七月	七月	同
二十六日	二十三日		十五日	十四日	十日	九日	六日	五日	三日	七月	七月	一月	一月	三十日
一	七	一	二	二	四	二	二	二	二	一	四	四	二	
津市	志摩郡	津市	同	四日市	桑名郡	宇治山田市	河藝郡	飯南郡	度會郡	飯南郡	宇治山田市	津市	津市	度會郡
事務打合	染色傳習	車務打合	同	實地指導	紙製品調査	同	實地指導	事務打合	同	同	實地指導	同	染織競技會審査	同
技術員	場長	技術員	同	技手	技師	同	技師	書記	技師	場長	技師	技手	場長	技術員
上地逸太郎	大塚久次郎	上地逸太郎	日東經信	真井武雄	中村惣太郎	同	有元轍三郎	箕浦義賢	有元轍三郎	大塚久次郎	上地逸太郎	真井武雄	大塚久次郎	上地逸太郎

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
十四日	二十九日		二十四日	廿三日	十九日	十八日	十六日		十五日	十三日	十一日	同日	同日	十日
一	二	二	二	一	一	二	六	二	二	二	二	三	五	
宇治山田市	飯南郡	桑名郡	四日市	同	津市	宇治山田市	飯南郡	靜岡縣	度會志摩郡	同	同	同	同	同
同	同	同	實地指導	醬油品評會審査	事務打合	實地指導	調查染織業	同	同	同	同	實地指導	染織業調査	同
技師	場長	技術員	同	技師	技術員	披師	場長	技師	技手	技師	同	技手	場長	技師
中村惣太郎	大塚久次郎	伊藤信次郎	有元轍三郎	小泉爲三郎	上地逸太郎	有元轍三郎	大塚久次郎	上地逸太郎	日東經信	有元轍三郎	真井武雄	日東經信	有元轍三郎	大塚久次郎

同	同	同
	三十一日	二十八日
一	一	一
同	同	河藝郡
同	工藝品評會用務	事務打合
技術員	技術員	書記
伊藤信次郎	真井武雄	箕浦義賢

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	三月五日
		廿七日		廿六日		廿五日	二十二日	十五日	十二日	十一日	六日			
三	三	五	四	三	三	六	一	一	一	一	一	三	二	
同	同	河藝郡	志摩河藝郡	宇治山田郡	同	河藝郡	飯南郡	安濃郡	四日市市	河藝郡	津市	飯南郡	員辨郡	東京市
實地指導	同	工藝品評會審查	實地指導	同	同	工藝品評會審查	事務打合	工業講話	同	實地指導	同	事務打合	實地指導	太正博覽會用務
技術員	技術員	技術員	技術員	同	技師	同	同	場長	技師	場長	技師	場長	技師	技師
伊藤信次郎	真井武雄	有元轍三郎	長井教雄	小泉爲三郎	三上河太郎	同	同	大塚久次郎	真井武雄	大塚久次郎	中村惣太郎	大塚久次郎	真井武雄	有元轍三郎

14.21
351

終

